



核兵器のない世界、日本の平和と安全のために 日本国憲法を守り、非核・平和外交を

まもなく、核兵器禁止条約が国連で採択されてから1年を迎えます。条約は、人類史上初めて核兵器を全面的に明文上も違法としました。70年余りにわたって分断と対立におかれてきた北朝鮮と韓国、米国との間で首脳会談が実現し、非核平和へのプロセスもはじまりました。

ところが、私たちの日本の政府は、アメリカの「核の傘」を口実に、禁止条約の署名や批准を拒否し、朝鮮半島の平和と非核化のための外交的努力に背を向けてきました。

世界が、将来の世代を核の惨害の危険から救うために大きなステップを踏もうとしている今、日本政府は内外の期待に応え、非核平和の実現のために前向きな役割を果たすべきです。

日本政府に求めます

- ◇唯一の被爆国国民の意思を尊重し、核兵器を禁止・廃絶を実現するために誠実に努力すること。
- ◇核兵器禁止条約への調印、批准を積極的に検討すること。
- ◇朝鮮半島非核化と平和体制構築の合意を歓迎し、問題の平和的外交的解決の立場を貫くこと。日朝平壤宣言に基づいて両国間の問題を解決すること。

「ヒバクシャ国際署名」はどなたでもサインできます

被爆者のみなさんのよびかけにぜひご協力を！

